

倉敷市第三次環境基本計画の進捗状況等について



くらしき環境マスコットキャラクター
「くらしいふ」

1

環境基本計画の評価

◆指標の設定

- ・5つの基本目標及び共通目標にかかる11の各政策に、施策の進捗状況を測る「ものさし」として指標を2～4つ設定

【指標例】

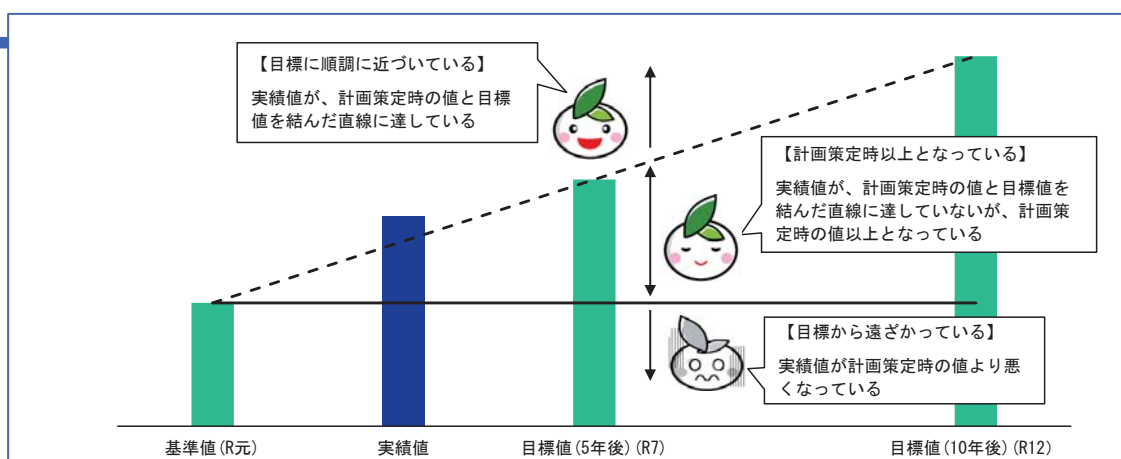
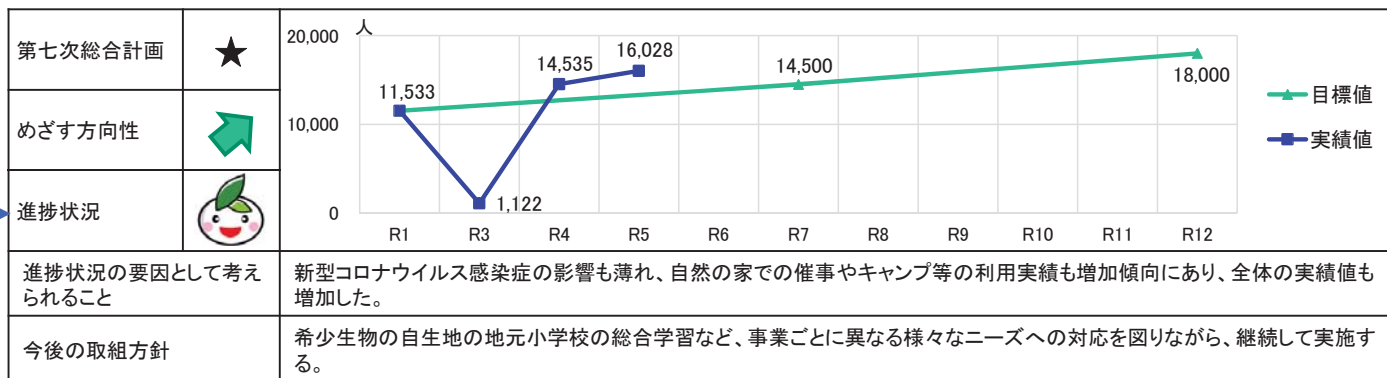
- ・身近なところで、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思う人の割合
 - ・身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合
- } 16才以上、2,000人を対象に市民アンケートを実施
-
- ・汚水処理人口普及率
 - ・1人1日当たりの家庭ごみ排出量
- } 事業実績値

◆めざそう値との比較

- ・5年後及び10年後の目標値である「めざそう値」と市民アンケート結果や事業実績値を比較
⇒年度毎の傾向を把握

指標の評価例

●自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数

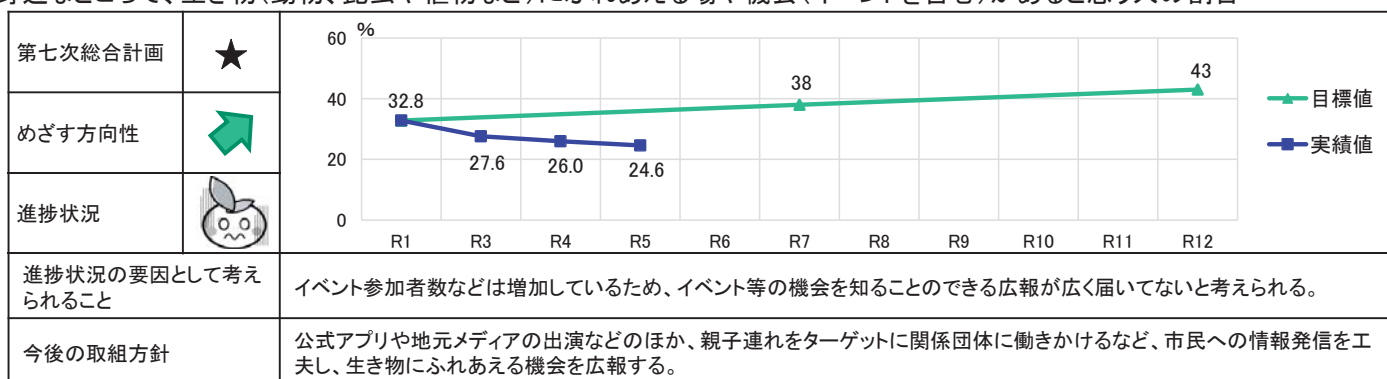


3

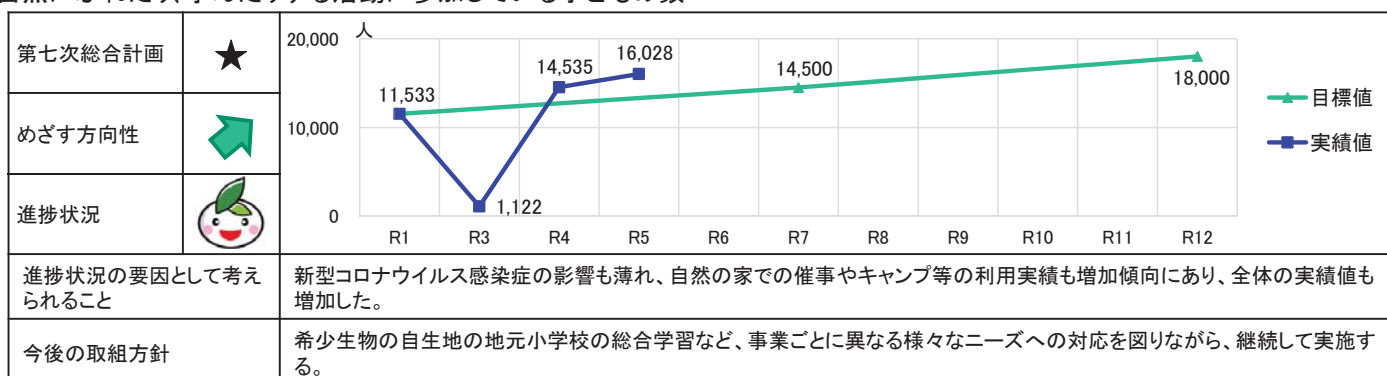
基本目標1 自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれているまち

政策① 豊かな自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します

●身近なところで、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思う人の割合



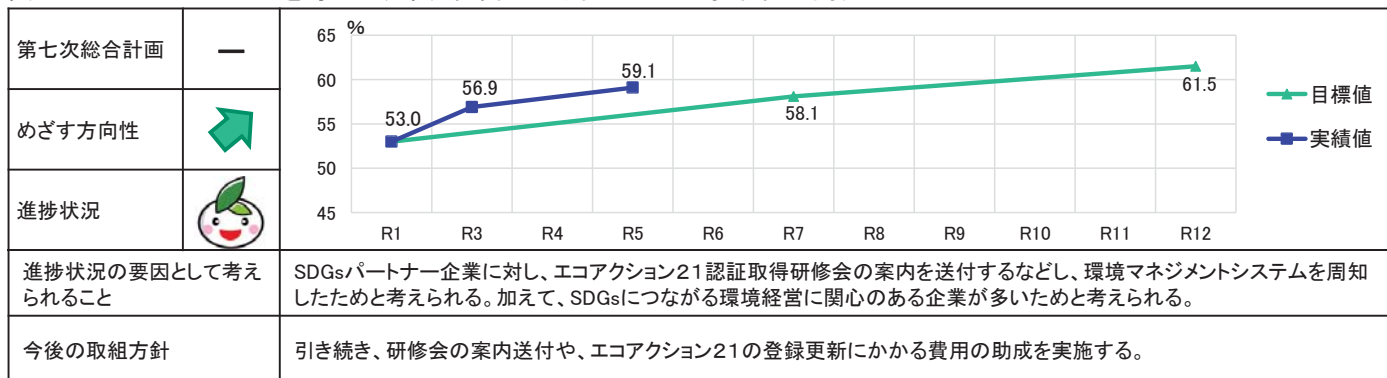
●自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数



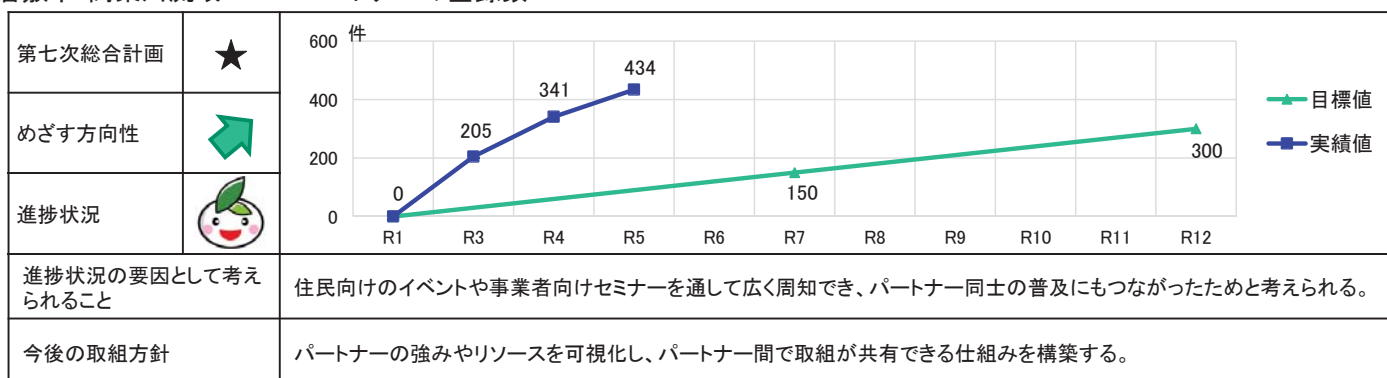
4

政策② 環境・経済・社会の好循環の創出により、持続可能なまちづくりを推進します

●環境マネジメントシステムを導入し、環境経営に取り組んでいる事業者の割合



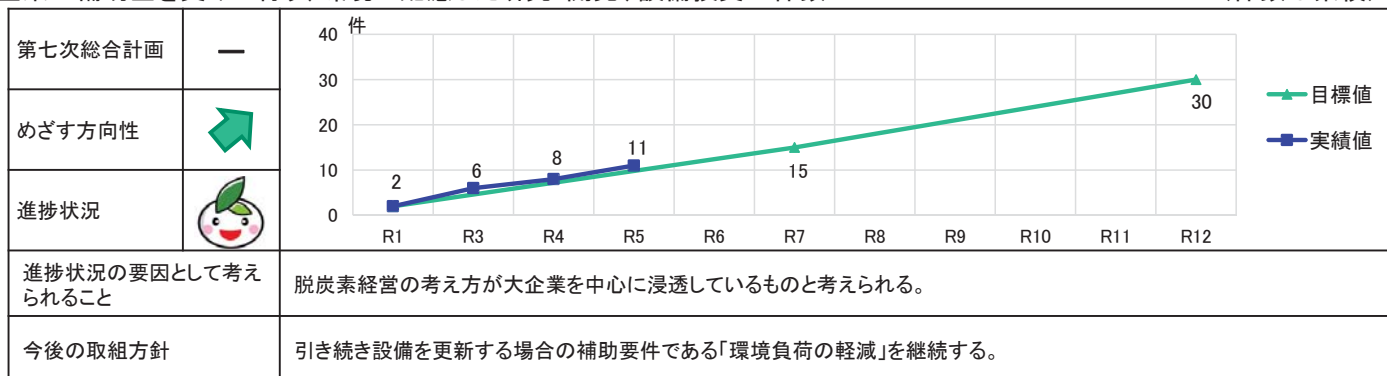
●倉敷市・高梁川流域SDGsパートナーの登録数



5

●企業が補助金を受けて行う、環境に配慮した研究・開発、設備投資の件数

(件数は累積)

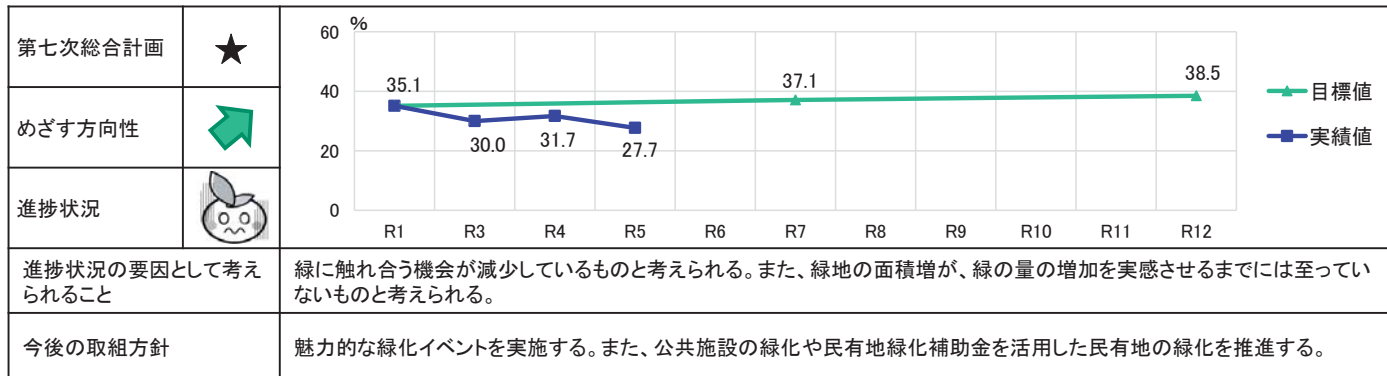


6

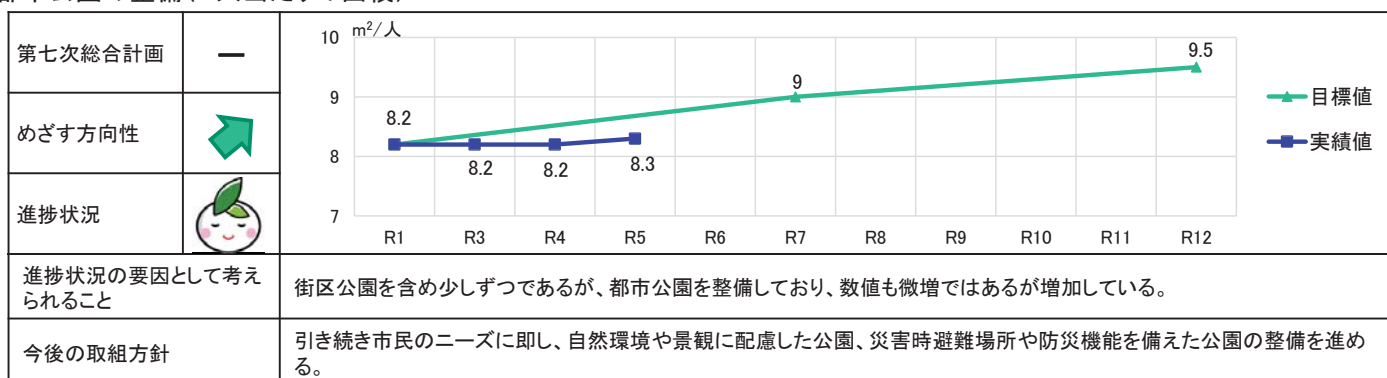
基本目標2 潤いと安らぎ、歴史的・魅力的な景観を有しているまち

政策③ まちの緑化を推進し、潤いと安らぎのある生活空間の充実を図ります

●身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合



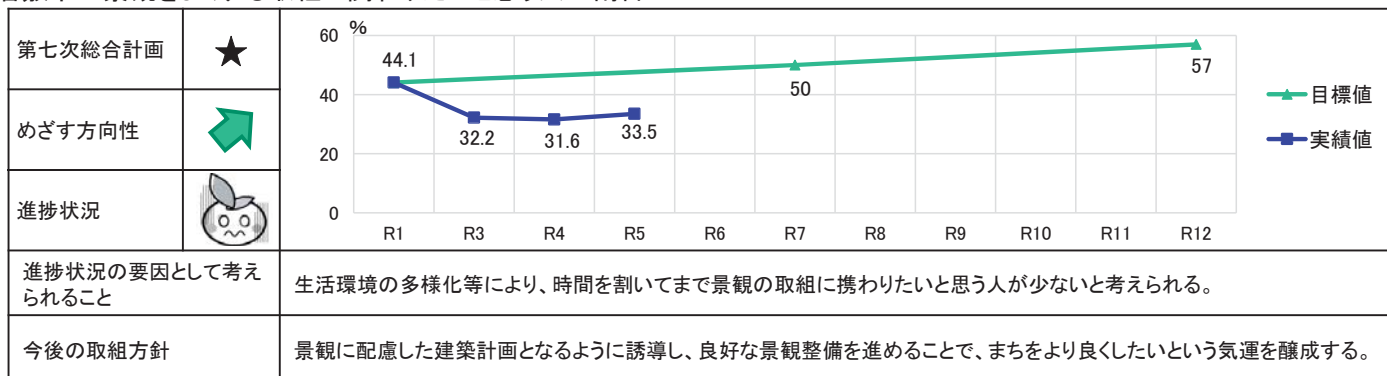
●都市公園の整備(1人当たりの面積)



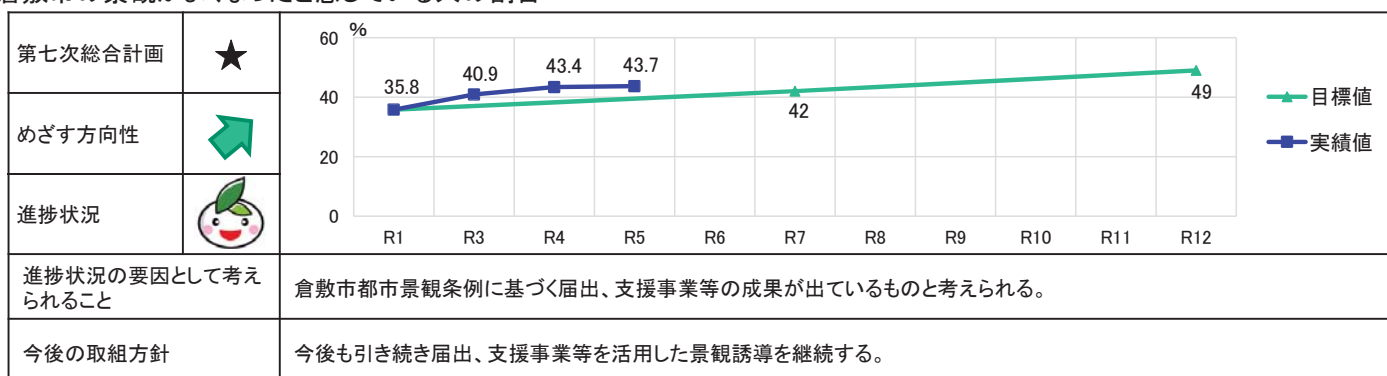
7

政策④ 瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

●倉敷市の景観をよくする取組に関わりたいと思う人の割合



●倉敷市の景観がよくなったと感じている人の割合



8

基本目標3 水と空気と大地がきれいで、常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができるまち

政策⑤ 良好な水環境、クリーンな大気環境の保全に努めます

●河川海域のBOD・COD・全窒素・全りん環境基準適合率

第七次総合計画	—	
めざす方向性		
進捗状況		
進捗状況の要因として考えられること	海域における環境基準値付近で推移している水域のCODの75%値がわずかに減少したため、昨年度より適合率が改善した。なお、法令及び環境保全協定に基づき、工場・事業場に対して立入検査や行政指導により排水基準の遵守を指導した。	
今後の取組方針	引き続き河川海域の水質監視を継続実施する。また、今後も事業者指導を継続し、水質環境基準の達成率向上を目指す。加えて、生活排水による環境への影響を低減するため、環境保全推進員等への研修について継続実施する。	

●大気環境基準達成率

第七次総合計画	★	
めざす方向性		
進捗状況		
進捗状況の要因として考えられること	大陸の大気環境が改善傾向にあることから、越境するPM2.5が減少したと推測される。	
今後の取組方針	引き続き大気環境を的確に把握し、市民にわかりやすい情報提供を行う。	

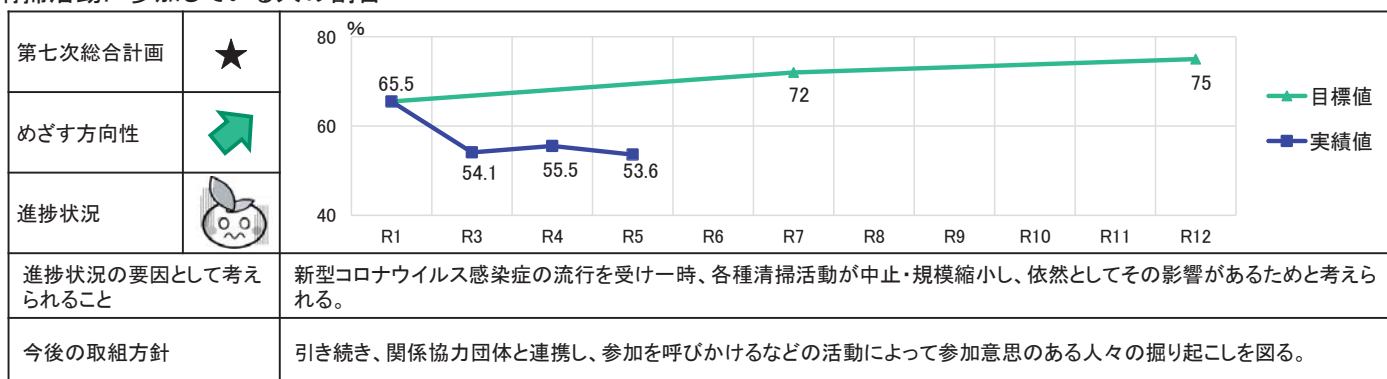
9

●汚水処理人口普及率

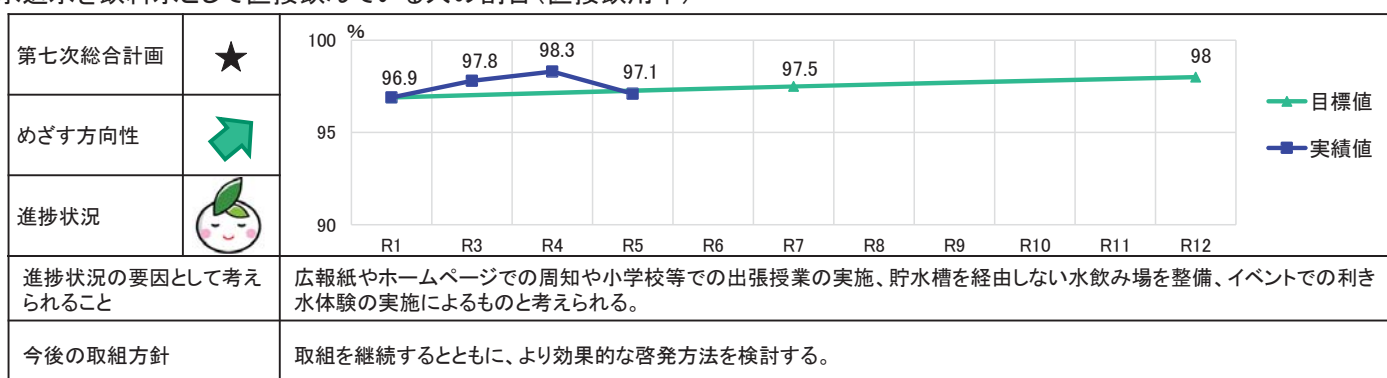
第七次総合計画	★	
めざす方向性		
進捗状況		
進捗状況の要因として考えられること	合併処理浄化槽設置基数は微増しているが、世帯当り人口の減少の方が上回っているため、浄化槽汚水処理人口が減少した。	
今後の取組方針	引き続き、下水道の整備、合併浄化槽の設置推進を行う。	

政策⑥ 快適な生活環境の確保に努めます

●清掃活動に参加している人の割合



●水道水を飲料水として直接飲んでいる人の割合(直接飲用率)

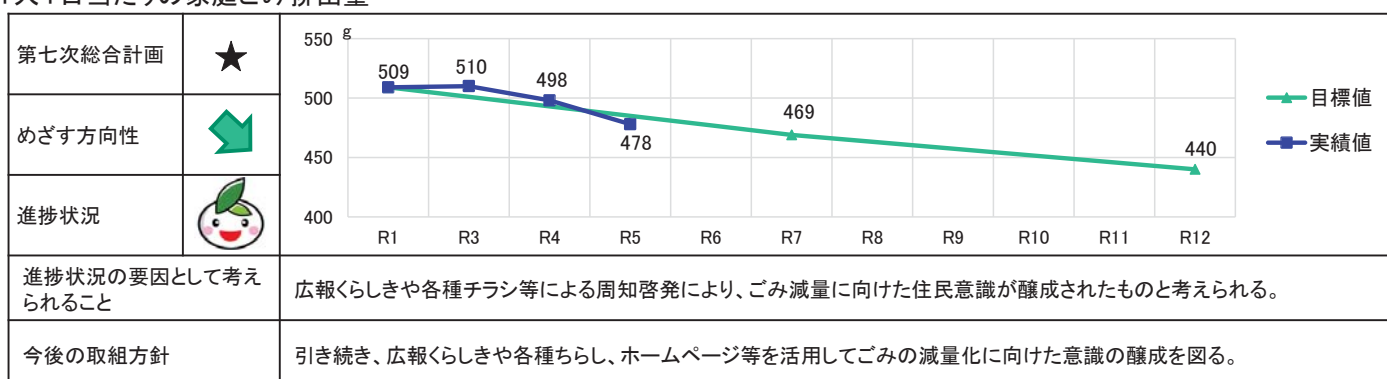


11

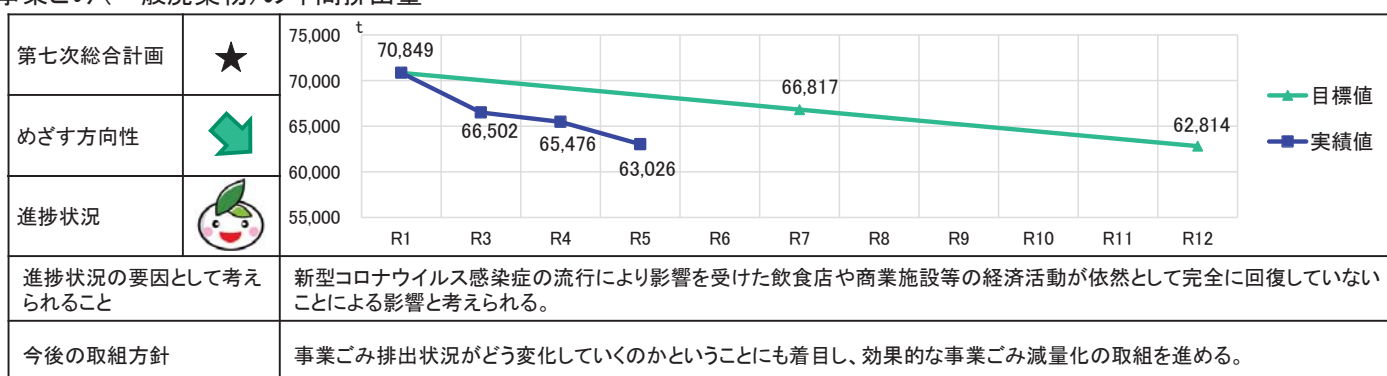
基本目標4 リデュース・リユース・リサイクルが徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されているまち

政策⑦ 廃棄物の発生抑制・再使用を進めます

●1人1日当たりの家庭ごみ排出量



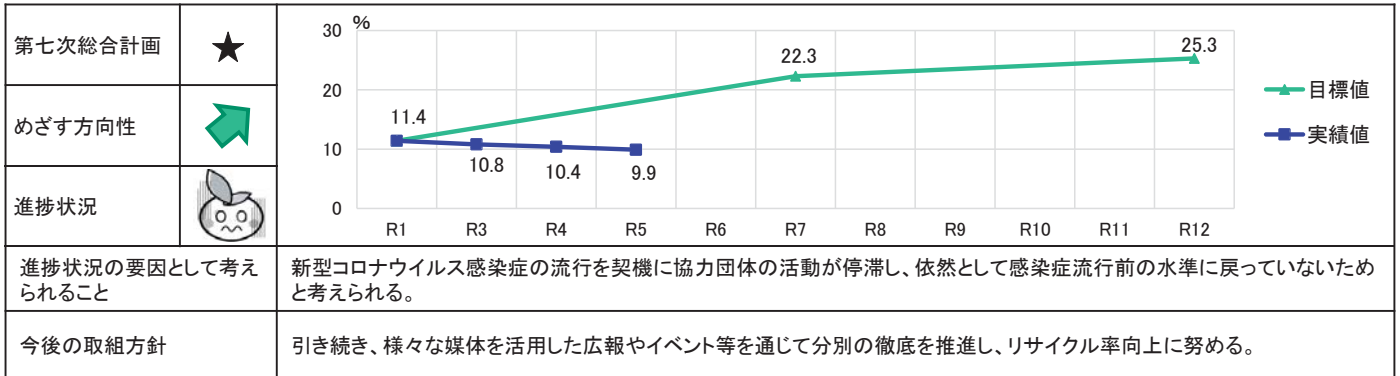
●事業ごみ(一般廃棄物)の年間排出量



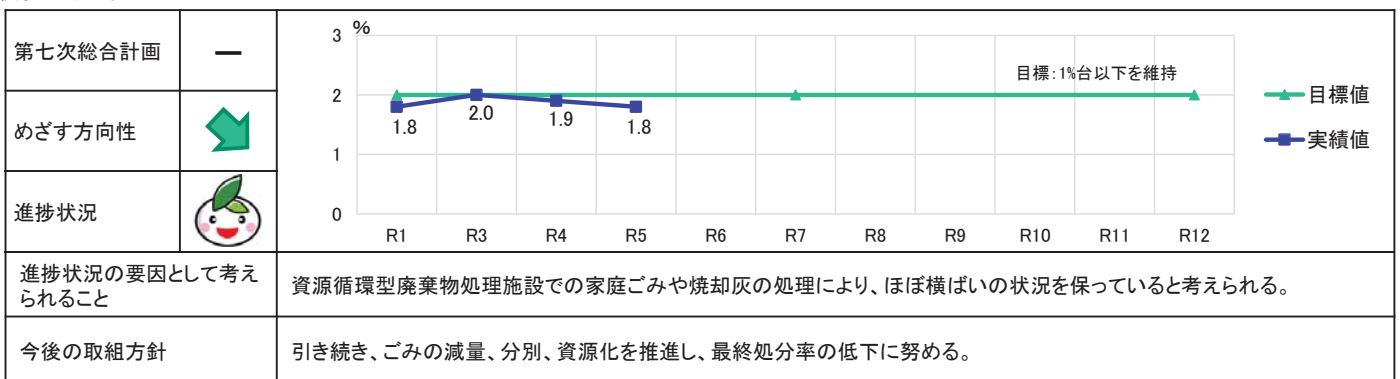
12

政策⑧ 廃棄物の適正な分別・リサイクルを進めます

●リサイクル率



●最終処分率

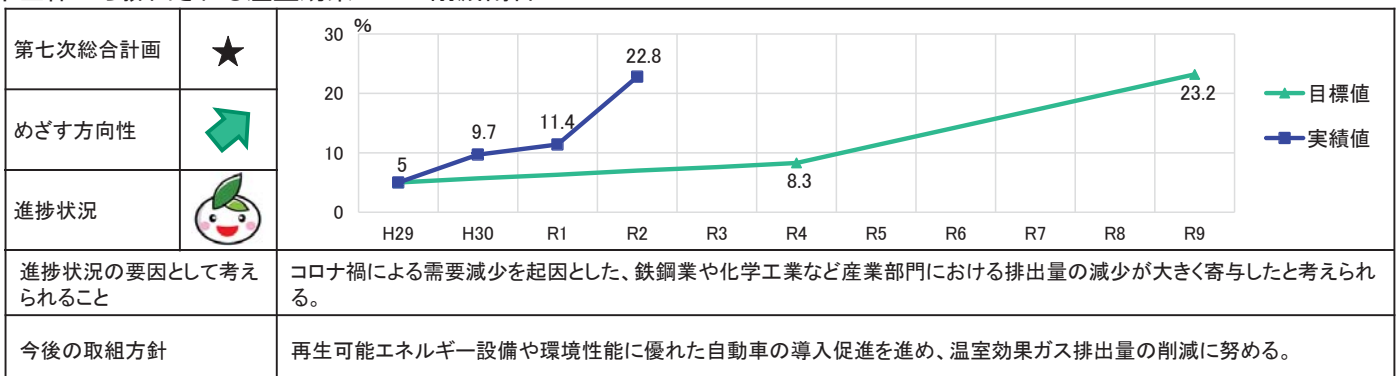


13

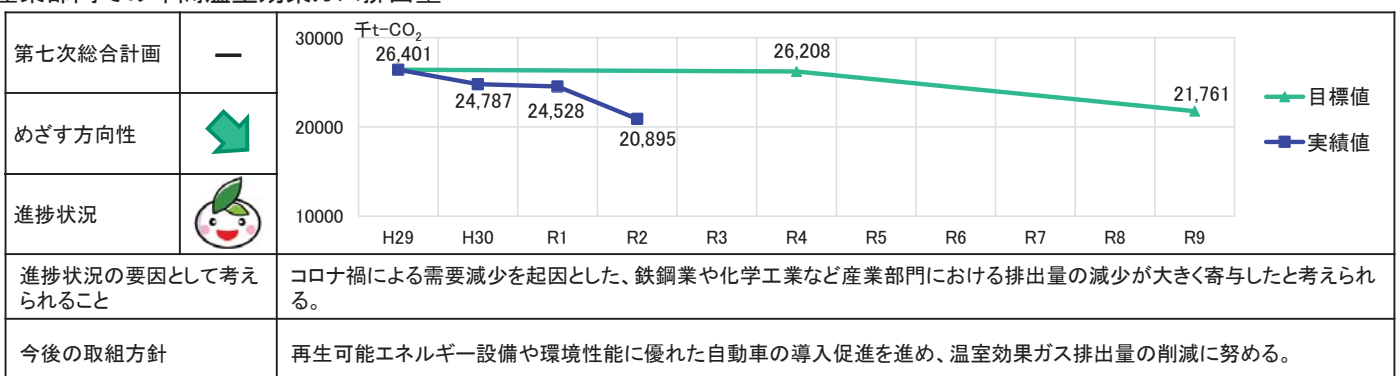
基本目標5 脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進しているまち

政策⑨ 温室効果ガス排出量の削減に努めます

●市全体から排出される温室効果ガスの削減割合



●産業部門での年間温室効果ガス排出量



14

●世帯当たりの年間温室効果ガス排出量

第七次総合計画	★		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況	😊		
進捗状況の要因として考えられること	暖冬による暖房時のエネルギー需要の低減が大きく寄与したと考えられる。		
今後の取組方針	再エネ設備の導入を促す補助事業の実施とともに、環境に配慮したライフスタイルの普及啓発を行う。		

●太陽光発電システムの導入件数(10kW未満)

第七次総合計画	★		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況	😊		
進捗状況の要因として考えられること	太陽光発電への理解が広がることに加え、当市の補助事業における導入促進効果も大きく寄与したと考えられる。		
今後の取組方針	太陽光発電によるエネルギーコストの削減効果を中心に、補助制度の更なる拡充や啓発に努めていく。		

15

政策⑩ 地域特性に応じた適応策を実施します

●熱中症搬送患者数

第七次総合計画	—		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況	😞		
進捗状況の要因として考えられること	倉敷市においても平均気温が平年よりかなり高い結果となったことに加えて、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、日常生活が戻ってきたため、人流増加に伴い、熱中症搬送件数が増加したと考えられる。		
今後の取組方針	熱中症予防について、様々な機会(救命講習会、幼児健診等の保健事業、ポスター掲示、ホームページやSNS、マスメディアを活用した発信等)を通じて、普及啓発に努める。		

●自主防災組織カバー率

第七次総合計画	★		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況	😊		
進捗状況の要因として考えられること	継続的な出前講座等の啓発事業により、自主防災組織の必要性への理解が進んでいるものと考えられる。		
今後の取組方針	出前講座等を活用して自主防災組織のさらなる結成促進と活動活性化を支援するため、継続して啓発を行う。		

16

共通目標 5つの基本目標を達成するための「人づくり」

政策⑪ 環境意識を持ち行動できる人を育てます

●環境学習満足度

第七次総合計画	★		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況			
進捗状況の要因として考えられること	出前講座を中心とした講座内容改善の影響が考えられる。		
今後の取組方針	継続して実施する。		

●環境教育・環境学習講座受講者数

第七次総合計画	—		目標値
めざす方向性	➡		実績値
進捗状況			
進捗状況の要因として考えられること	新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座や施設見学などの依頼が控えられたためと考えられる。		
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症に留意しつつ、出前講座や施設見学を実施する。また、講座内容を見直すなどして、受講者数増加につなげる。		

17

	「目標に順調に近づいている」	「計画策定時以上と なっている」	「目標から遠ざかっている」
基本目標1 「自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれているまち」	4 指標	0 指標	1 指標
基本目標2 「潤いと安らぎ、歴史的・魅力的な景観を有しているまち」	1 指標	1 指標	2 指標
基本目標3 「水と空気と大地がきれいで、常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができるまち」	1 指標	3 指標	1 指標
基本目標4 「リデュース・リユース・リサイクルが徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されているまち」	3 指標	0 指標	1 指標
基本目標5 「脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進しているまち」	4 指標	1 指標	1 指標
共通目標 「5つの基本目標を達成するための「人づくり」	1 指標	0 指標	1 指標
基本目標1～5及び共通目標の総合計(全26指標)	14 指標 (R4 : 14 指標)	5 指標 (R4 : 5 指標)	7 指標 (R4 : 7 指標)

18